



大砂土中だより

はつ らつ
澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.8 令和5年12月1日号

体験出前講座

校長 上統 昌司

早いもので令和5年も最後の月、12月となりました。吐く息も白く、朝のピンとした冷たい空気が冬の到来を感じる季節となりました。

さて、11月18日(土)には体験出前講座を多くの地域の方や講師の方々をお招きし、実施することができました。先ずは、講師の皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今年度も、19もの多種多様な講座を開設することができました。

この出前体験講座の良さは、何と言っても普段の授業では決して体験できない内容であることです。日本の伝統的な文化や技術を学ぶことと、実際に体験できることが大きな収穫となります。見ているだけではなかなか伝わりにくいものですが、自分の手で触れることで良さや大切さ等が実感できます。講師の方が、その歴史や意義等も丁寧に解説していただくことで、深みも増します。例えば太鼓では、講師の方の演奏を聴いた後、実際に生徒が挑戦してみますが、なかなか同じように迫力のある音を鳴らすことができません。わら細工も完成作品を見るだけでは仕組みも分からず戸惑いますが、基礎から丁寧に教えていただきながら作成していくことで完成へと近づけていきます。完成した時の喜ぶ生徒の表情を見て、講師の方々も笑顔になります。特に印象に残っているのは、スクラップブックキングの講座です。各自それぞれに大切な写真を持ち寄り、丁度よい大きさにカットして台紙に張り付けていきます。そして、その当時の想いやエピソード、場所や時間等を手書きで記していきます。作業をしている表情はとても穏やかで、喜びに満ちています。きっとその当時の事を思い出しながら作っているんだろうなど、私は想いながら暫く足を止めて見ていました。今の時代、写真もデジタルで処理することができるので、わざわざ現像するという事が少なくなりました。だからこそ、手作りのアルバムは貴重であり、より思い入れが強くなるのだと思います。

講師の方々も、毎年この行事を楽しみにしていると話していただけます。今年も「生徒さん達から私たちも元気をもらえて、とてもありがたいです」と、言っていただくことができました。地域の方々と生徒が触れ合うことができるこの行事を、今年も開催できて本当に嬉しく思います。この講座がきっかけで、将来の職業や夢に繋がる事も十分にあると感じています。この経験を活かすことができれば、より体験出前講座の意義が高まります。ぜひ、今後の生活に活かして行ってほしいと思います。

大きな行事を経験し、どの学年も大きく成長できた2学期も締めくくりの1ヵ月です。一人ひとり、自分自身に取り組んできた足跡を振り返りながら、身に付けてきた力を定着させるために、しっかりと学期のまとめを行い、良い年を迎えましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、2学期も本校の教育活動において、ご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。皆様も良いお年をお迎えください。